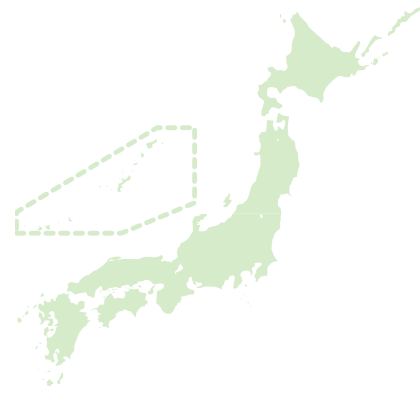


令和元年度 「言語聴覚の日」イベント報告



福島県

福島県言語聴覚士会では令和元年9月1日(日)に郡山市の総合南東北病院NABEホールにて「認知症市民フォーラム～9月1日は言語聴覚の日～」を開催致しました。

今年度は“きこえ”と“歯周病”の認知症への関係についてをテーマとし、当日は多くの市民の方にもご来場頂きました。“きこえ”については加齢性難聴の特性から、きこえにくさに対する自覚症状が少ない傾向となるので、早く気づき耳鼻科の受診を行い適切な対応へとつなげることが大切です。

“歯周病”については糖尿病との関連が強く、それぞれがお互いの病態を悪化させてしまい、その結果アルツハイマー型認知症のリスクが高まるとのことです。

こちらも定期的に歯科受診を行い、口のチェックを行うことが大切です。

「認知症の35%は予防・修正が可能な要因により起こると考えられている」との報告もあり、その9つの要因の中には“難聴”や“糖尿病”があるといわれております。

食べる事は生きる事に、よく聞きよく話すことは人生の活力に、健康な“生活”を支える柱となる口と耳の専門職である言語聴覚士についてより広く知って頂けるよう、今後も活動してまいります。

令和元年度「言語聴覚の日イベント開催報告」

一般社団法人福島県言語聴覚士

広報部 櫻井亘

